

岡山県「平成30年7月豪雨」災害検証委員会報告書 構成案

はじめに

第1編 平成30年7月豪雨災害の概要と検証の実施

第1章 平成30年7月豪雨（岡山県）の概要

- 1 気象概要
- 2 対応状況
- 3 被害状況

第2章 検証の概要

- 1 趣旨
- 2 検証体制
- 3 検証経過

第2編 課題及び対応策

第1章 県・災害対策本部対応について

- 1 課題
- 2 対応の方向性

第2章 市町村対応について

- 1 課題
- 2 対応の方向性

第3章 ハザード、自然状況とその対応について

- 1 課題
- 2 対応の方向性

第4章 避難情報、避難行動について

- 1 課題
- 2 対応の方向性

第5章 県管理河川への被災対応について

- 1 課題
- 2 対応の方向性

第6章 今後に向けて

- 1 課題
- 2 対応の方向性

第3編 今後の対策に向けた提言

<参考資料>

- ・平成30年7月豪雨災害での対応行動に関するアンケート調査結果

(参考資料)

平成30年7月豪雨災害での
対応行動に関するアンケート
調査結果報告書（案）

平成31年 月

岡山県

目 次

第 1 章 調査概要 -----

- 1. 調査目的 -----
- 2. 調査方法 -----
- 3. 回収結果 -----

第 2 章 調査結果 -----

- 1. 回答者の属性 -----
- 2. 現在と災害時の状況 -----
- 3. 「大雨特別警報」発表時の状況 -----
- 4. 「避難指示（緊急）」発表時の状況 -----
- 5. 「避難」行動について -----
- 6. 豪雨災害による被害・影響 -----
- 7. 豪雨災害からの復旧・復興や備え -----

< 参考資料 >

- 調査票 -----

第 1 章 調査概要

1 調査目的

平成 30 年 7 月豪雨災害では、岡山県内で死者 66 名（うち災害関連死 5 名）、行方不明者 3 名、住家被害 16,373 棟（平成 31 年 1 月 4 日現在）という甚大な被害を及ぼした。この災害の教訓を県内だけでなく広く全国に伝え、今後の災害に備えることを目的にアンケート調査を実施した。

2 調査方法

（1）調査地域

高梁川水系の住家被害の大きい市町（岡山県倉敷市、総社市、高梁市、矢掛町）

（2）調査対象

調査地域における半壊以上の被災世帯（6,644 世帯）

（3）調査方法

質問紙による郵送自記入・郵送返却

（4）調査期間

平成 30 年 11 月 29 日（木）～平成 30 年 12 月 20 日（木）

3 回収結果

市町村名	発送数	回収数	回収率
倉敷市	5,608	—	—
総社市	487	—	—
高梁市	328	—	—
矢掛町	221	—	—
計	6,644	3,928	59.12%

< 参考資料 >

調査票 別添のとおり